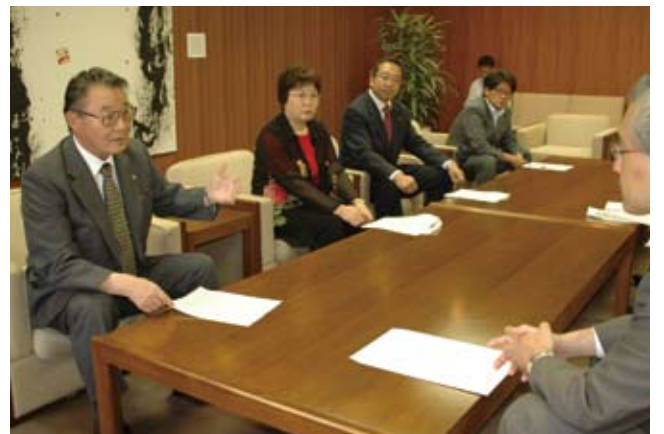


高島市長、こども病院 人工島移転を発表

ゆるせません！

移転中止と
現地周辺での
建て替えに
全力をあげます

高島市長は5月24日の記者会見で、こども病院を人工島に移転すると発表しました。これは前市長の計画と基本的に同じものです。日本共産党は、断固抗議します。



人工島移転の断念、現地建て替えを市長に申し入れる日本共産党市議団（5月23日）

前市長の計画
なにひとつ見直さず

「病院のベッド数は260」「のべ床面積は2万6千㎡」「駐車場は400台」……前市長の計画は、いまよりも病院をかなり大きくするものでしたが、高島市長のもとでもそれを不動の前提にしたため、現地やその周辺での建て替え案がひどく不利にあつかわれました。

「こども病院移転計画調査委員会」は、前市長の決定過程を調査し、「説明責任を果たせない意思決定」として市に「猛省」をうながしました。前市長の計画を何一つ見直さないのは高島市長の公約違反です。

なぜわざわざ災害によわい人工島にもついでにくのか

人工島で液化化被害がおきないという科学的根拠はしめされていません。また、電力などライフラインが寸断し、病院が孤立化する危険がいちばん高いのが人工島です。

しかも、市長はつい最近、福岡市での津波を想定した防災計画見直しを指示したばかりです（となりの佐賀県では玄界灘で4メートルの津波を想定）。

ところが市長は、学者数人から聞き取りした程度で「防災面に問題なし」としました。

被災した宮城のこども病院長は…

同院長は福岡市の調査委員会で、震災のさいに建物は被害を受けなかったが、電源が確保できず呼吸器停止などの危機に直面したと報告。「大災害でも通常の診療維持が必要。その点で人工島は最も弱く、孤立化の可能性がある」と発言しました。

収支計画をまったく見直さない異常

市長は「今の病院の跡地には新しい小児科をつくり、人工島の新病院と役割分担する」といっていますが、もしそうなら人工島の新病院はベッド数も患者数も減るはず。なのに、一切計画の変更なし。このままでは赤字がふくらみ、経営破たん…。



前市長がつくった「新病院基本構想」は指一本ふれられませんでした

ウラ面につづきます

福岡市議会ニュース

1088号 2011年6月 福岡市中央区天神1-8-1市議会11階
ご意見・ご要望をおよせください <http://www.jcp-fukuoka.jp>

ご意見・ご感想をぜひ ☎ 711-4734

日本共産党

福岡市議団

市長は30万署名にこめられた 市民の願いにこたえよ

こども病院の
人工島移転

日本共産党

福岡市議団

市民のみなさんとともに 人工島移転反対にがんばります

こども病院の人工島移転反対など30万の市民が署名をしてきました。この願いを押しつづすことはできません。住民説明、市民アンケート、住民投票などをおこない、市民の納得が得られなければ、人工島移転は断念すべきです。



宮本 秀国

市議団団長（南区）



星野 美恵子

市議団副団長（中央区）



中山 いくみ

市議団幹事長（早良区）



熊谷 敦子

市議会議員（西区）



綿貫 英彦

市議会議員（東区）

（オモテ面からのつづきです）

「新しい小児科で地域医療になろう」 は前市長と同じ市民だまし

患者家族のみなさんの心配は、人工島移転で市内の小児救急医療の配置バランスがくずれてしまい、とくに西部地域のみなさんにとっては、救急でかつぎこまれるときも、通院でも、リスクが高まることです。

市長と市医師会会長は「いまの病院跡地に成人病センターを移し、小児科を新しくつくって地域医療になろう」という計画を出しました。

しかし、以下をみれば「新小児科」は不明だらけ。こども病院のかわりにはなりません。

「移転後の西部地域の医療のことは協議会で検討する」といった前市長の「市民だまし」と同じものではないでしょうか。

異常な市長の独断ぶり

記者会見に資料もださず、不十分な説明で終了……市長は本当に調査委員会の報告を真剣に読み、検討したのでしょうか。

今回の決定は、市の「閣議」ともいうべき、市長が市の幹部をあつめた会議でおこなわれましたが、記者会見の直前に開かれ、わずか15分でうちきられました。

これでは調査委員会が前市長のやり方として厳しく批判した、市長によるトップダウン、独断そのもの。それどころか市内部の調整さえ無視した強引な手法といわねばなりません。

調査委員会の批判

「市として重要な意思決定を行っていく際、確固とした体制ができていたのか、チェック体制は十分だったのか、各局の連携はとれていたのか」「市役所内部のみで行い、この過程を真摯に市民に説明し、理解を得ようとする姿勢に欠けていた」

- ①NICU継続の保障なし
- ②小児科新設が許可される見通しなし
- ③小児科医の確保が難しい

いまのこども病院がもっている新生児集中治療室（NICU）などが跡地の新小児科で継続される保障はなにもありません。

また、地域でのベッド数は上限が定められているため、小児科が新たに許可される見通しは、何もありません。

さらに、小児科医は深刻な不足のうえ、市長は人を出さない姿勢を示しました。